

下記の項目を『文化むら エコカルチャー計画』へ追加しました。

⑩東日本大震災による電力供給不足への取り組み

- ・平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、計画停電を実施するなど東京電力管内の電力供給力が大幅に減少している。

群馬県の「県有施設について、前倒しして取り組みを進めるため、当面これまでの国の考え方（15%削減）に基づき、それに上乗せし20%削減することを基本に、率先して省エネ、節電に取り組む」という方針を踏まえ、下記のとおり使用最大電力の削減目標値を設定し、電力供給不足解消の一助とするとともに、CO2 排出量削減へ繋げる。なお、国または県の方針が示されたときは、必要な見直しを図る。

**使用最大電力削減目標値**

平成 22 年度夏の使用最大電力 434KW の 20%削減 →

|                 |              |
|-----------------|--------------|
| <b>目標使用最大電力</b> | <b>347KW</b> |
|-----------------|--------------|

- 照明関係→大・小ホール＝客席照明 20%削減
  - 展示ホール ＝電灯数の 20%削減
  - その他館内 ＝電灯数の 50%削減（オープンスペースは 75%）
- 空調関係→全施設 ＝室内温度 28 度の設定
- 動力関係→中央池 ＝循環ポンプの停止（通年）
  - 資料館池 ＝ " （通年）
  - 外堀側溝 ＝ " （通年）
- トイレ関係→ ＝便座温度と温水温度の下方設定